

10月研修便りvol. 6

新人看護師 看護のリフレクション



看護部長とも
語り合いました。



印象に残る看護体験をリフレクションしました。就職して半年経ち、患者さんの思いへの気づきや、看護師としてできることも増えていました。語り合う中で、同じような経験をしている研修生と共感し合ったり、アドバイスしたり。5月のリフレクションより気づきや学びも多く、みんなの成長を感じた研修でした。
(教育担当看護師長)

新人看護師 フィジカルアセスメント（呼吸）

講義



フィジカル
イグザミネーション



ラダーレベルII メンバーシップ テーマ：受け持ち看護師としての役割発揮

入院前の
生活は？



患者の希望を
考えるとケア方法は
合ってるかな？

ラダーレベルIIでは、『根拠に基づいた看護実践』が課題です。研修生が経験した看護の一場面について、患者情報を4側面（身体・心理・社会・スピリチュアル）に整理し、根拠あるケアになっていたかリフレクションしました。社会面やスピリチュアルの情報を整理すると患者の言動にある本当の思いに気づき、身体的情報などある一面の偏った視点でケアを考えている自分に気づいた研修生が多くいました。看護チームで情報交換して患者理解や看護を考える重要性に気づけた研修でした。
(教育担当看護師長)

フィジカル
アセスメント



アセスメントをもとに
安全・安楽なケアを検討

『事例：COPDでHOT導入している入浴好きなAさんの清潔ケア』を演習を行ないながら考えました。フィジカルイグザミネーションでは五感を使った観察を意識します。呼吸音や画像、検査値、患者の訴え、実際の生活行動、患者さんの価値観・・・全てを統合すると、入浴してもらいたいAさんの呼吸状態ではリスクも大きいのではないかと、研修生は、Aさんの思いとリスクの間で悩んでいました。安全・安楽な看護を考える上でフィジカルアセスメントの大切さを再確認できました。研修後、『見て、触れて、聴いて、感じて看護したい』と感想があり、気持ちを新たにできた研修になったなと感じています。
(教育担当看護師長)